

秋田市教育委員会
会 議 録

平成24年12月定例会

秋田市教育委員会平成24年12月定例会会議録

- 1 日 時 平成24年12月27日(木)
午後3時30分～午後5時10分
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 委員長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員(教育長)
- 4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
総務課参事
学事課長
学校教育課長
学校教育課教職員室長
教育研究所長
文化振興室長
スポーツ振興課長
生涯学習室参事
総務課長補佐
学校教育課長補佐
総務課副参事
総務課主席主査
総務課主査
総務課主査
教職員室主査
生涯学習室主査
総務課主事

5 議 題

【付議案件】

議案第23号 秋田市指定文化財の指定解除に関する件

【協議事項】

(1) 平成24年度秋田市教育委員学校訪問の総括について

【教育長等の報告】

(1) 秋田市いじめ対策委員会について

(2) 平成24年度「新成人のつどい」の警備について

6 議 事 午後3時30分開会

【平成24年11月定例会会議録の承認】

平成24年11月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

米本委員長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【付議案件】

議案第23号 秋田市指定文化財の指定解除に関する件

委員長 議案第23号「秋田市指定文化財の指定解除に関する件」について、事務局から説明願う。

文化振興室長 (資料に基づき説明)

委員 資料3ページの写真で、残っている木がサワラで、標柱の横に倒れているのが山葡萄か。

文化振興室長 そのとおりである。左上写真のつる状のものが山葡萄の木である。

委員 根回りが90cmとのことだが、元気な頃は山葡萄の実がなっていたのか。

文化振興室長 かなりの老木なので、実がなっていたかどうかは把握していない。

委員 標柱も含めて撤去するのか。跡に印を残したりする考えはあるか。

文化振興室長 指定解除に当たっては標柱等を撤去し、記録を残すことはない。

議案第23号については、全員賛成により議決された。

【協議事項】

(1) 平成24年度秋田市教育委員学校訪問の総括について

委員長 協議事項(1)について、事務局から説明願う。

教職員室長 (資料に基づき説明)

委員 7月から11月までの中で、訪問が集中したのは10月であった。学校側の都合があると思うが、もう少し前倒しして平準化できれば良いと感じた。

学校説明は大変ありがたい。授業を見ることも重要である。懇談は最初からテーマを決めてしまうより、感じたことを中心に時間を割く、現行どおりの方法で良いと思う。学校により特に見てほしい、力を入れているところがあると思うので、学校に任せて良いと考える。

施設訪問は、今回は教育研究所で柔道の講習会を見て大変参考になった。全市一斉授業研究会も勉強になった。教育委員のかかわり方に議論はあると思うが、学校訪問の予定に組み込んで良いのではないかと思う。

教職員室長 日程は学校の都合等を聞いて決定しているが、10月に集中しないようにしたい。

委員 小中学校の行事と委員の日程を調整すると、10月に集中するのは仕方がない。現実的には学校が落ち着いている時期でないといけないのでやむを得ないと思う。

学校の経営説明、重点を聞き、学習活動を見るという流れは、子どもを見るポイントを押さえることができ、良いと思った。ただし、懇談に参加する先生の数が多い場合、全員の話聞くために自分の話をどこまですれば良いか、時間の使い方の工夫が必要であると感じた。

施設訪問は先生方が頑張っているところを見られて良かった。社会教育の現場の実際については把握できていないので、それを見ることができれば勉強になると思う。

委員 日程は10月に集中していて厳しいものがあつた。学校の都合もあると思うが、平準化すると良い。スケジュール、日程については、同じ地区の組み合わせが良く、調整されていると思った。

懇談については、様々な議論ができて良かった。学校説明で疑問に思ったこと、校内を回って気づいたことを話せるので、フリートーク形式が良いと感じている。

施設訪問については、社会教育施設や市民サービスセンター等を見学したい。

委員 懇談について、出席しているのは意欲のある先生方だと思う。自分たちが頑張っていることを訴えていて良かった。全く発言できなかった先生もいたので、校長の司会のもと、全員話せるようにしてほしい。学校側から、教育委員会の考え方に対する質問等があっても良いと思う。教育委員会と学校が一体となって進んでいくべきである。

教職員室長 懇談は、校長によっては、普段直接教育委員と話す機会がないので先生方を多く出席させたいという願いがあると聞いている。

委員長 10月は忙しかったが、1日1箇所の訪問だと予定が組みやすかった。学校の都合もあると思うが、7月に予定を入れて、水泳の見学などがあっても良い。

懇談について、多くの先生が参加できれば良いが、話を聞けない先生もいて心苦しい。学校と教育委員会で話し合

ってほしい。

施設訪問については、一昨年は太平山自然学習センター、昨年はきらり特別支援学校、今年は教育研究所と学校関係の施設が多かったので、来年度は公民館、美術館など2箇所程度見ることができれば良いと思う。例えば千秋美術館で学芸員と話したり、佐竹史料館の内容についてレクチャーを受けるなどできれば良い。

教職員室長 委員の希望に添えることができるように、来年度は調整したい。

委員 例えば合唱コンクールや防災訓練などの学校行事を、外から見る機会が年1回でもあれば良いと思う。子どもの反応や姿をダイレクトに見られれば参考になる。

協議事項(1)については、以上のとおり終了した。

【教育長等の報告】

(1) 秋田市いじめ対策委員会について

学校教育課長 (資料に基づき説明)

委員 11月に人選、2月に開催とあるが、開催についてホームページや広報誌等に掲載されるのか。また、委員名は公表されるのか。

学校教育課長 すでに9月に新聞で報道されている。マスコミからも1回目の開催日の問い合わせが来ており、日程の公表は問題ない。委員の公表については検討したい。

委員 委員の個人名が公表された場合、直接その委員へ相談を持ちかけることが想定されると思う。

学校教育課長 慎重に対応したい。

委員 基本的に、教育委員会で事案が起きたら対処するもので、対処法等のアドバイスをもらう諮問機関であるのか。

学校教育課長 そのとおりである。対応が困難である場合の諮問機関で

ある。

委員 はじめに対応するのは教育委員会というのは変わりなく、適切な助言をもらうための機関ということで良いのか。

学校教育課長 教育委員会で対応するが、困難である場合、臨時開催とする。

委員 施行日は年内になるのか。

学校教育課長 教育長の決裁をもらい次第施行するので、年内の予定である。

委員 対策委員会は、事案対応への強制力はあるのか。

学校教育課長 あくまでアドバイスをもらう機関である。

委員 責任の主体が教育委員会にあるからか。

学校教育課長 そのとおりである。

委員長 経費は補正予算で出すのか。

学校教育課長 今年度分は、当初予算からの充当を考えている。25年度は、対策委員会開催を想定した予算取りをしている。

秋田市いじめ対策委員会についての報告は、以上のとおり終了した。

(2) 平成24年度「新成人のつどい」の警備について

生涯学習室参事（資料に基づき説明）

委員長 シャトルバスについての問い合わせはあるのか。

生涯学習室参事 どこから出発するかという問い合わせが1件あり、出発場所や時間を知らせた。

委員長 行きは親が乗せてくる場合もあると思われるが、帰りについても運行するのか。

生涯学習室参事 帰りも運行する。行きは親の送りやタクシーで帰りはバスを使うというケースも考えられ、行きと帰りの利用者は同数ではないと思う。フレキシブルに対応したい。

平成24年度「新成人のつどい」の警備についての報告は、以上のと

おり終了した。

【その他、事務局から】

(1) 平成24年11月市議会定例会の審議状況について

- 総務課長 (教育産業委員会で審議された議案2件、報告2件について内容を報告)
- 学事課長 (陳情2件について、採決の結果、不採択となった旨を報告)
- 教職員室長 (陳情1件について、採決の結果、採択となった旨を報告)

(2) 小学校通学路における緊急合同点検について

- 学事課長 (小学校通学路における緊急合同点検について資料に基づき報告)
- 委員 対策件数が113件とのことだが、1つの危険箇所にも複数の対策とは、具体的にはどのようなケースなのか。
機関別対策で、踏切の拡幅をすることで歩道を作るのか。行うにしても複雑な話になると思うがどうか。
総点検を日常のルーチンワークにした方が良いと思う。数年に1回、春などに市教委が中心となって行ってはどうか。
文部科学省の安全対策アドバイザーの派遣は、国が主導となるのか。第三者の目によってできることは極力活用してほしい。
- 学事課長 対策については、学校ごとに様々なものがあり、詳細な内訳等については手元にはないが、大まかにいうと、1つの危険箇所に対して道路管理者としては道路というハード面、警察としては交通規制等のソフト面から、それぞれ対策を

立てたということであり、その合計が113件の対策となったものである。複数の対策が必要な箇所はそれだけ危険度が高いということが言える。

踏切の拡幅は、短期的には困難であり、道路管理者の予算の関係もあって実施時期未定となっている。しかし、対策としてあがっている以上はいずれ実施するものと考えている。

交通危険箇所や、効果的な対策については今回の合同点検により共通認識ができたので、今後の定期的な取組についても検討したい。

文科省の安全対策アドバイザーについては、現在のところ具体的な事業内容が不明なので、県を通じて事業内容が判明しだい、市教委として検討したい。

委員 登下校の危険箇所は日頃学校で声が上がっていると思うが、今回明らかになって良かった。歩道の設置2件、信号機の設置9件が対策実施時期未定となっているが、設置の声は以前にもあがっていると思われる。常日頃から要望があるものについては、この結果を踏まえて、実施済になるよう粘り強く話をしてほしい。

委員長 日新小に行った時、発表会の帰りと思われる迎えの車が細い道に並んでいて、児童がよけながら歩いていた。点検も大事だが、親の協力も大事だと思う。今は、各校で送迎の事例が多く、夕方のスポーツ少年団終了時に迎えの車が並ぶと聞いた。保護者の車のことも安全対策に組み込んでほしい。

(3) 雄和地域における小学校の統廃合について

学事課長 (雄和地域における小学校の統廃合について、資料に基づき説明)

委員 P T Aの意見集約は川添小が集約中とのことだが、他の

3校も改めて行うのか。また、地域の意見集約はどのよう
に行うのか。

学事課長 川添小以外の3校については、4行統合案ですでに集約
されており、改めて行う考えはない。また、地域の意見集
約については雄和地域は各地区に自治会がなく、自治会連
合会をお願いしている。

委員 川添地域の意見を見ると、2つに割れているように思う。
方向的には感触をつかんでいるのか。

学事課長 川添小は現在複式学級ではないので他の3校とは温度差
がある。PTA会長によると、説明会后アンケートをとっ
たところ、少数ながら反対意見もあった。他学区と状況が
異なることを踏まえ、川添小に12月に出向き、再度説明
会を開催した。保護者はスクールバスと児童館に特に関心
があり、現段階で説明できることを話した。これからもP
TA会長と連携していきたい。

委員 デリケートな問題なので、納得のいく形で進めてほしい。

委員長 川添小は環境が良いと思う。統合によりその環境を奪っ
てしまう心配もあるが、統合することによる良い面もある。
4校が統合して良かったとなるように、教育委員会で考え
てほしい。

学事課長 少子化だから仕方なく統合するということではなく、4校
統合により新たな教育上の価値を生み出すことを目指して
進めていきたい。

(4) 1月の教育委員会関連行事予定について

総務課長 (1月の行事予定について、資料に基づき報告)

【その他、委員から】

委員 中学校の武道必修化を受け、怪我の事例などがあれば教
えてほしい。

新聞で心を病む教員の記事があった。秋田県の場合、病
気休職者は54名いて、心が原因である人は38名とのこ

とである。秋田市の場合はどのような状況か。

学校教育課長 武道について、報告にあがってくるような大きな怪我はない。各校とも安全面に十分配慮して行っている。

教職員室長 新聞記事のデータは平成23年のものである。秋田市では13名いた。早期退職や復職した人もおり、平成24年現在では6名となっている。

委員長 調布市で、給食を食べて亡くなった児童がいた。おかわりをして、アレルギーを持つ食品を食べたことが原因といわれるが、秋田市では今回の事例による注意喚起はあるか。

学校教育課長 改めて注意喚起は行っていないが、食物アレルギー対応の手引きを周知している。これは実際に食べて見届けるところまでの内容である。各校でさらに気をつけてほしいと考える。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 教育委員会1月定例会は、平成25年1月24日(木)午後3時30分からを予定している。

委員長 1月定例会は、1月24日(木)午後3時30分からとする。

午後5時10分閉会

以 上